

団体名	国立大学法人北海道大学国際連携機構							
事業名	地域の特性を活用した異文化理解のための小学生と外国人留学生の歩くスキー実習							
実施期間	平成29年1月15日(日)							
場 所	中島公園(札幌市中央区中島公園)							
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	11	0	4	13	0	4	0	32名

<実施内容>

本事業は雪の多い札幌の特性を生かし、冬の季節に地域の小学生が様々な国・地域出身の外国人留学生と歩くスキーという遊びを通じて交流する事業である。

地域の小学生は、本学と長年に渡り交流実績があり、日頃から連絡を取り合っている札幌市立八軒西小学校から6年生10名と校長他2名の教師が参加した。本学からは、昨年10月に渡日し大学院入学前の外国人留学生11名、「新渡戸カレッジ」に所属する3名と外国人留学生の日本語授業アシスタントを努める1名、計4名の日本人学生と教職員2名が参加した。市内中心部にありコースが平坦で市民や観光客に開放している中島公園を会場とした。

実施当日、会場の中島公園は天候にも恵まれ、予定を変更することなく滞りなく実施することができた。外国人留学生及び小学生ともに全員が歩くスキーはこの日が初めてということで、最初は慎重に歩いて体験し、いくつかの走法を体験してから、最後に二組に分かれたリレーを行い、大きな声で声援を行うなど大いに盛り上がった。

その後、中島体育センターにおいて、昼食交流会を行い、日本滞在期間の短い外国人留学生は、小学生から卓上の並べられた日本の料理を紹介してもらうことをきっかけに会話が弾み、交流を深めることができた。

外国人留学生にとっては初めてのスキーであり、地域の小学生との実習は異文化理解を高めるためにも有効だった。また、小学生にとっても外国人と接する機会は多くないことから、今回の研修への参加により様々な国・地域の留学生との交流を通じた異文化理解やプレゼンテーション力を身につける機会となった。

<記録写真>



集合写真



歩くスキー実習



歩くスキー実習